

【質問】ラスビック錠との相互作用に気をつけるべき薬剤は？

【回答】

ラスビック錠 75mg の有効成分であるラスクフロキサシンは CYP3A4 の基質です。添付文書では、本剤の服用に際して併用に注意すべき薬剤として、以下のとおり記載されています。

- アルミニウム、マグネシウム、カルシウム、鉄、亜鉛を含有する製剤
制酸剤、ミネラル入りビタミン剤等

[本剤の効果が減弱されるおそれがあるので、本剤と同時に服用させないこと。]

- フェニル酢酸系、プロピオン酸系非ステロイド性消炎鎮痛剤
フルルビプロフェン等

[痙攣を起こすおそれがある。症状が認められた場合、両剤の投与を中止するなど適切な処置を行うこと。]

- リファンピシン、フェニトイン、カルバマゼピン

[本剤の作用が減弱する可能性がある。]

- テオフィリン、アミノフィリン水和物

[テオフィリンの作用を増強させるおそれがあるので、併用する場合にはテオフィリンを減量するなど適切な処置を行うこと。]

- クラスⅠA 抗不整脈薬

キニジン、プロカインアミド等

クラスⅢ抗不整脈薬

アミオダロン、ソタロール等

[QT 延長を起こすおそれがある。]

- 副腎皮質ホルモン剤(経口剤及び注射剤)

プレドニゾロン、ヒドロコルチゾン等

[腱障害のリスクが増大するとの報告がある。これらの薬剤との併用は、治療上の有益性が危険性を上回る場合のみとすること。]

出典:添付文書